



NEWS RELEASE

博報堂DYメディアパートナーズ 2016 年度入社式社長挨拶

株式会社博報堂DYメディアパートナーズは 4 月 1 日(金)午前 11 時、東京都港区赤坂の本社に新卒採用者 20 名を迎え、大森壽郎代表取締役社長以下、役員および部門長が出席し、2016 年度の入社式を実施いたしました。大森社長が「新入社員への歓迎と激励」として述べた挨拶の要旨は、以下の通りです。

“強いチーム力”で、社会を動かそう。

皆さん、入社おめでとうございます。

本日、博報堂DYメディアパートナーズに20名の仲間が加わることを、大変うれしく思います。この先の博報堂DYメディアパートナーズ、そして、2万人を超える仲間が集う博報堂DYグループを牽引する若き力として、大いに期待しております。

さて今年度も私たちはデジタル領域を始め、様々な分野で挑戦を始めます。大きな成長を遂げているネット広告を扱う部門を核に「株式会社博報堂DYデジタル」を設立。また、ネット業界の雄、ヤフージャパンと共に、ビックデータを扱う「株式会社 Handy Marketing」もスタートいたしました。近年ネットの広告費は全広告費の2割に達し、この先、デジタルが引き起こすであろうビジネスのパラダイムシフトは、私たちの先人が築いてきたビジネスモデルに変化をもたらす可能性もあります。

私たちはいま、“新たなビジネスのルール”を創り、“新たな勝ち方”を確立しなければなりません。言うなれば「次のメディア事業会社を、次の広告会社を、発明する」ということです。

皆さんもこの変化に飛びこんで来た訳です。

そこで、私が44年間この業界に関わってきた中で感じたことを、3つお伝えしたいと思います。これから社会人として歩んで行く中で、参考にしてみてください。

1つ目は、「意志を持って、自ら働きかける」ということです。

ビジネスを進める上で忘れてはいけないのは、自らの考えや想いを直接伝える、いわば“血の通ったコミュニケーション”です。ビジネスのヒントと言うのは、どんなにテクノロジーが進化しようとも、一人ひとりの頭の中にあります。それを引き出すには、直接人に会い、意見をぶつけ合い、他人の考えに直接触れることが重要です。議論する中で思いもしないアイデアが浮かんたり、気づきがあったりするものです。意見をくれたり、助けてくれたりする仲間を作ることが不可欠です。自分のアイデアと、それを実現しようという意志を持った上で、少しでも時間を作り直接話をするようにしてください。

2つ目は、「専門性を身につけ、磨く」ことです。

現場に行くと、得意先や媒体社と向き合いますが、「新人だから」と言って甘やかしてはくれません。先輩方同様、一人の“MP

マン”として扱われます。そこで問われるのは、「あなたは何ができるのか？」という事です。どんな価値をもたらすのか、それだけです。「いまの自分には、何ができるのか？」時々振り返ってみてください。「何もできていない」と思うのであれば、“やり方”あるいは“やること”を変えなければなりません。そして、自分にできることを見つけたならば、それを徹底して磨いてください。それはいつか“あなたにしかできないこと”になります。決して焦る必要はありませんが、専門性を身につけ、磨くことを心がけていただきたいと思います。

私は社内に対して「越境」というキーワードを掲げています。これは、「自らの専門性をベースに、他の領域の専門家と向き合い、新たな価値を生み出して行こう」という行動指針です。皆さんにもいずれは実践していただくことになりますが、いまはまず先輩や上司と共にしっかりと勉強し、専門性を身につけ磨く。それを実践していただきたいと思います。

3つ目は、「チームと共に動く」ことです。

人間、もう少しくと「自分の力」を過信するものです。若い時ほどそうかもしれません。しかし、皆さんは“必ずチームに支えられている”ということを意識して欲しいと思います。自らのアイデアを持って、周囲とよく相談しながら仕事を進めてください。チームがうまく機能するには、思いやり、忍耐、スキルなどその全てが必要です。一人が怠ければチームは崩壊します。うまくいったならば皆で分かち合い、失敗したら互いにフォローするようにしてください。

私たちは、自らのアイデアや問題意識をカタチにして世に送り出せる、クリエイティブな会社です。そして、オモシロイ物は世代を超えて残り続けます。またこの会社は、タテ・ヨコの距離がとても近いのも特長です。常に情報や知恵を共有し、アイデアをぶつけ合いながら、成し遂げる。自分さえその気になれば、個人の力をこえて、“強いチーム”の力でスピーディーに大きなアクションを起こしていけます。

私は、「デジタルネイティブであり、最も生活者に近い皆さんにこそ提案できる視点がある」と思っています。そして、それに大いに期待しています。世の中の動きを俯瞰的に捉え、広告会社らしい、自由で社会を明るくするクリエイティブなアイデアを実現して、“社会を動かす”あるいは、“時代を動かす”ことに挑戦してってください。

今日から始まる博報堂DYメディアパートナーズでの毎日に、大いなる希望を持って一歩ずつ進んで行きましょう。

皆さん、よろしくお願いいたします。

以上